

地区コミュニティ協議会との意見交換で頂いた意見と今後の対応
(昨年11月14日のコミュニティ協議会会長会議説明資料をもとに)

平成26年3月25日
薩摩川内市

1. これまでの経緯

- (1) 新エネルギー対策課は、次世代エネルギーを活用したまちづくりを進めるため、平成24年7月より、地区コミュニティ協議会との意見交換を実施。
- (2) 現在、38地区コミュニティ協議会との意見交換を実施。
- (3) 昨年3月には、頂いたご意見等を踏まえ、「次世代エネルギービジョン」及び「行動計画」を策定。
- (4) 頂いたご意見を踏まえて、総合運動公園防災機能強化事業やスマートハウス(モデル)実証事業を実施中。

2. 頂いたご意見の概要

意見交換の中で頂いたご意見の中で、多く寄せられたものは以下のとおり。

- (1) 農地の荒地や休耕田、遊休地を活用して、太陽光発電事業を実施してはどうか。
- (2) 「エネルギーのまち」と言いながら、街灯が多いとか、電気代が安いなど、何も恩恵がない。
- (3) 太陽光発電など再生可能エネルギー由来の電源を活用した街灯は設置できないか。また、節電やエコのためにLED化はできないか。
- (4) 市の公共施設の屋根や屋上に太陽光パネルを設置して、蓄電や売電をしてはどうか。災害時の避難所としての機能向上にもつながる。
- (5) 具体的な施設や設備をつくって提示して見せれば、市民への理解促進や普及啓発につながるのではないか。
- (6) 市の公用車を電気自動車(EV)にしてはどうか。非常時には、蓄電池としても使える。

3. 今後の対応

意見交換会の意見を踏まえ、以下の事業の実施可能性について検討中。

- (1) LED街灯の更なる導入
- (2) 情報通信技術を踏まえた見守り支援サービス
- (3) 年代等を踏まえた、きめ細かな普及啓発策
- (4) 公共施設の「屋根貸し」による太陽光発電事業
- (5) 公用車への電気自動車(EV)の導入(平日公用車、休日市民利用貸出の検討)

地区コミュニティ協議会との意見交換会における提案・意見・要望等の内容

番号	提案・意見・要望等の内容	意見交換会実施地区コミュニティ協議会																																																							
		龜山	可愛	育英	川内	平佐西	平佐東	隈之城	永利	水引	滄浪	八幡	高来	城上	陽成	吉川	西方	藤本	野下	市比野	樋脇	倉野	副田	清色	朝陽	大馬越	八重	斧淵	南瀬	山田	鳥丸	藤川	黒木	上手	大村	蘭牟田	手打	子岳	長浜																		
1	地区コミュニティセンターに太陽光発電や電気自動車を配置してもらえないか。															○	○																																								
2	太陽光発電を活用した街灯は設置できないか。																		○				○																						○												
3	農地の荒地や休耕田、遊休地を利用して太陽光発電は実施できないか。																○			○							○			○																											
4	太陽光などの新エネルギーを活用して、畜産に係る温度調節の費用の削減はできないか。																						○																																		
5	市の公共施設の屋根や屋上に太陽光パネルを設置して、蓄電や売電をしてはどうか。																			○																																					
6	太陽光パネルをリースにして、一般の住宅に取り付けてもらい、蓄電や売電する仕組みはつくれないか。																			○																																					
7	廃校の体育館の屋根等に太陽光パネルを設置できないか。																																																								
8	農地転用が難しいということであるが、市が所有している農地以外の土地に、太陽光パネルを設置できる土地はないのか。																																																								
9	市が個人住宅に太陽光パネルを設置、余剰電力を売電して、事業費の回収や地域に還元するような仕組みはできないか。																																																								
10	住宅の建築確認申請を行う際に、地元建築業界とも連携する形で太陽光パネルの設置を必須としてはどうか。																																																								
11	小水力発電を設置して、滝のライトアップに利用できないか。																																																								
12	小鷹井堰のような井堰や水路などを利用した小水力発電が実施できないか。																																																								
13	水量の豊富な川を利用して小水力発電を行い、閉校した学校に人を集めたり、避難所として活用したりできないか。																																																								
14	マイクロ水力発電などの設置に対して、無利子融資や補助金制度の創設ができないのか。																																																								
15	中郷の上池と下池の落差を利用し、らせん水車を設置して揚水発電を行うことはできないか。																																																								
16	地区でエネルギーをつくるのが難しいのであれば節電やエコを進め、街灯はLEDにすればよいのではないか。																																																								
17	施設の電気代が高いのでLED化に取り組みたいが、高額の経費がかかるので補助等はないのか。																																																								
18	太陽光や小水力発電など、地区コミュニティ協議会の特色を活かし、モデル的に実証できないか。																																																								
19	市営住宅を太陽光発電や畑付きにして、田舎らしい付加価値とICTなどを組み合わせればどうか。																																																								
20	太陽光発電など、環境に配慮した住宅を貸家として提供してほしい。																																																								
21	道路の上に太陽光パネルを設置したり、既存の送水管は利用できないか。																																																								
22	メガソーラーのパネルの下を活用して、水耕栽培施設のような工場を誘致するなど、有効利用はできないか。																																																								

地区コミュニティ協議会との意見交換会における提案・意見・要望等の内容

番号	提案・意見・要望等の内容	意見交換会実施地区コミュニティ協議会																																						
		亀山	可愛	育英	川内	平佐西	平佐東	隈之城	永利	水引	滄浪	八幡	高来	城上	陽成	吉川	西方	藤本	野下	市比野	樋脇	倉野	副田	清色	朝陽	大馬越	八重	斧淵	南瀬	山田	鳥丸	藤川	黒木	上手	大村	藺牟田	手打	子岳	長浜	
23	グラウンドゴルフ場の屋根に太陽光発電設備を設置できないか。										○																													
24	クリーンセンターから出る排熱を利用して、発電を行い、所内の電気を賅うことはできないか。	○																																						
25	木質バイオマスで、間伐材の処理など山が循環していくシステムができれば一番いいと考える。																									○			○											
26	木クズを利用したバイオマス発電、温泉を活用したエネルギー開発など進めてほしい。																																						○	
27	バイオマスは雇用につながっていくだろうが、地区として市の事業とどのように関わっていくことができるのか考えたい。																○																							
28	バイオマス発電に関し、林業者への補助金があれば、間伐をする人が増え、地域の所得増にもつながるのではないかと。																																						○	
29	暖房用エネルギーとしてペレットが手軽に利用できるのであれば、間伐材等の有効活用ができるのではないかと。																																						○	
30	地域の活性化等に温泉熱は利用できないか。																		○		○						○													
31	洋上風力は良い漁礁にもなるという話を聞いたが、甌島にはメリットがあるのではないかと。																																						○	
32	甌島の特性を活かした温度差発電や風力発電、潮力・波力などの海洋エネルギーも使えるのではないかと。					○																						○										○	○	○
33	川内港に波を利用した実験的な設備を設置してはどうか。														○																									
34	市役所の廊下に、都会の駅にあるような床を踏む時に発電する設備をつくってはどうか。														○																									
35	市の公用車を電気自動車(EV)にしてはどうか。非常時には蓄電池としても使える。																								○															
36	川内駅から川内港まで電気シャトルバスを走らせるということであるが、今後は路線バスにも電気バスを導入するのか。										○																													
37	甌島は電気代や燃料代が本土に比べて高いので、クリーンなエネルギーを使って何とかできないか。																																						○	○
38	地域活性化や高齢者対策、コミュニティの色々な行事ができるエネルギーやエコを中心とした複合施設を検討してほしい。				○																																			
39	市内には山林が多いので、木材からリグニンとセルロースを分離し、バイオプラスチックを作ってはどうか。																																							○
40	種子島で実施されている芋発電のような取組は可能ではないか。																																						○	
41	野菜果物の戦略として、地産地消・体験型・インターネットを活用しており、このあたりに磨きをかけることが重要である。																																						○	
42	鹿児島大学とも連携しながら、雑木や竹の燃焼、温水や灰の活用はできないか。											○																												
43	次世代エネルギーの導入に関しては、普及のための研究開発や実証実験なども必要ではないか。																																							○
44	小中一貫校を建設するときは、防災拠点としての機能も持たせ、太陽光発電などの整備の充実をお願いしたい。																																						○	
45	温泉や武家屋敷などの観光資源をエネルギーにつなげられないか。																																						○	

地区コミュニティ協議会との意見交換会における提案・意見・要望等の内容

番号	提案・意見・要望等の内容	意見交換会実施地区コミュニティ協議会																																									
		亀山	可愛	育英	川内	平佐西	平佐東	隈之城	永利	水引	滄浪	八幡	高来	城上	陽成	吉川	西方	藤本	野下	市比野	樋脇	倉野	副田	清色	朝陽	大馬越	八重	斧淵	南瀬	山田	鳥丸	藤川	黒木	上手	大村	藺牟田	手打	子岳	長浜				
46	し尿処理などを上手く循環させて、「エネ豚」としてブランド化できないか。																						○																				
47	次世代エネルギーは、設置費用がネック。基金を設けて設置費用を無料にするくらいの施策を打ってはどうか。																																				○						
48	課題、問題点だけでなく、頑張っているところ「強み」に磨きをかけることは考えられないか。																																										
49	甑島には古い地層があるので、「電気石」や「ヘリウム3」について大学等と調査を試みてはどうか。																																								○		
50	高齢者対策として、携帯端末を簡素化すれば利用可能ではないか。																		○																								
51	何か試作品のようなものをつくって、こういう形になるということを見せればよいのではないか。															○																											
52	電気は貯めておくことができないことがネック。蓄電会社をつくり、電気を使いたいときに使いたいだけ送電できないか。																																										
53	宇宙で発電して地上の基地に送電する方法もあるように聞かすが、そういったことはできないのか。		○																																								
54	小鷹井堰らせん水車に関し、9千万円で30kWというのは、無駄な投資ではないか。																																										
55	らせん水車の実証は、薩摩川内市のためにやっているのではなく、日本のエネルギー確保のためにやっているということと言わないといけない。																																										
56	甑島では家庭や地域でクリーンエネルギーをつくっても、電力会社とうまく調整しなければ使い道がないのではないか。																																										○
57	自治会で街灯を設置し地域が非常に明るくなったが、電気代が負担になっているので助成制度も検討してほしい。																																										
58	住宅用太陽光発電補助をもう少し手厚くしてほしい。そうすれば設置は増える。																																										
59	本地区をモデル地区に選定し、いろいろ実証してほしい。																																										○
60	大規模太陽光発電の建設計画地に至るまでの市道が狭いので、これらの市道整備拡幅に係る補助はないのか。																																										
61	結局、地域で実現可能なものを地道にやっていくしかないのではないか。																																										
62	地域の資源を活用して、コミュニティの収益源となる方法を考えていきたい。																																										
63	高齢化率も高く若者の働き場がないので、雇用を生むような事業を実施してほしい。																																										○
64	甑島は島外との輸送コストが高つくので、地元で消費できるような仕組みはつくれないか。																																										○
65	市が実施している住宅用太陽光発電への補助等の施策は、もっとPRを強化すべきである。																																										○
66	総合運動公園駐車場への太陽光パネル設置は、利用の面でも非常に良いのではないか。																																										○
67	ビジョンの構想の中に、地元のエネルギーは地元で賄うという地産地消も課題の一つにいれてほしい。																○																										
68	ビジョンは、具体的に何をしたいのか、打ち出すメッセージを明確にすべきである。																																										○

地区コミュニティ協議会との意見交換会における提案・意見・要望等の内容

番号	提案・意見・要望等の内容	意見交換会実施地区コミュニティ協議会																																									
		亀山	可愛	育英	川内	平佐西	平佐東	隈之城	永利	水引	滄浪	八幡	高来	城上	陽成	吉川	西方	藤本	野下	市比野	樋脇	倉野	副田	清色	朝陽	大馬越	八重	斧淵	南瀬	山田	鳥丸	藤川	黒木	上手	大村	蘭牟田	手打	子岳	長浜				
92	薩摩川内市において、九州で初めて実施するような日本のエネルギーに関する会議等を開催できないか。		○																																								
93	きゃんぱくは良い事業であり、それなりに集客もされており、今後も実施していくことで活気が出てくるのではないか。								○																																		
94	これまで国や市の主導でやってきたが、今後は何か地域から盛り上げていけば長続きするのではないか。								○																																		
95	次世代エネルギーとまちづくりがマッチングしない。通常のエネルギーでもよいのではないか。							○																																			
96	再生可能エネルギーの導入を図ったが、やっぱり原子力発電というための布石ではないか。							○																		○			○														
97	次世代エネルギーへの取り組みは、原発の廃炉に向けた取り組みということなのか。																																								○		
98	次世代エネルギーの話はいいことばかり書いてあるが、設備投資やランニングコストなどリスクは全然ないのか。			○																		○																					
99	九州に二つしかない原発が薩摩川内市にあることと、この取組との関連性、整合性の説明をもう少し親切にしてほしい。			○																																							
100	火力発電所がフル稼働しており、故障が発生して停電もあり得るので、抑えるため次世代エネルギーを考えていくのか。																										○																
101	次世代エネルギーの取組は、市内だけの問題ではないので、他の市町村や県との関係や連携は今後どうなっていくのか。																										○																
102	エネルギー関係の施設が川内地域に集中的に設置されているようだが、全体的に散らして設置することはできないのか。																					○																					
103	事業実現のためには、財源を考えると民活を採用していかなければならないと感じるが、民間の協力体制はあるのか。				○																																						
104	メリットだけでなく、デメリットも含めて検討した上で事業実施しないと、適切な運営ができなくなるのではないか。														○																												
105	市民からの政策提案をもらいたいとのことであったが、地域特性に基づいた我々の声をどういう形で届けたらよいのか。																																								○		
106	これまでの色々な意見交換会で意見は述べているが、横の連携は取れているのか。								○																																		
107	意見交換会を実施することで、地区コミュニティ協議会に何を期待しているのか、きちんと説明すべきである。								○																																○	○	
108	次世代エネルギーよりも、定住促進や高齢化対策などの地域活性化を優先してやるべきではないか。																																								○		
109	若い人から見て、自分の親や年配者が住みやすいところであれば、若い人も住もうと思うのではないか。																						○																				
110	原子力発電所の再稼働などの施策が見えない中、次世代エネルギーの活用を進めていくことは当然である。									○																																	
111	次世代エネルギーは必要であるが、設置等に係るコストが高いので、一般化しないのではないか。	○																																									
112	メガソーラーなど再生可能エネルギーは発電量が小さく、効率が悪いのではないか。	○																																									
113	電気を多く使用する中小企業等において、太陽光発電などの設置が進まないのはどうしてか。	○																																									
114	甌島以外の観光地についても、もう少し掘り下げてPRし、観光客に足を運んでもらうことはできないか。								○																																		

地区コミュニティ協議会との意見交換会における提案・意見・要望等の内容

番号	提案・意見・要望等の内容	意見交換会実施地区コミュニティ協議会																																											
		亀山	可愛	育英	川内	平佐西	平佐東	隈之城	永利	水引	滄浪	八幡	高来	城上	陽成	吉川	西方	藤本	野下	市比野	樋脇	倉野	副田	清色	朝陽	大馬越	八重	斧淵	南瀬	山田	鳥丸	藤川	黒木	上手	大村	藺牟田	手打	子岳	長浜						
115	バイオマス発電に関し、間伐材等を少しでも高く買って欲しいが、一方で山が荒れないよう業者への指導をお願いしたい。																									○																			
115	家庭用の太陽光パネルへの補助はいくらか。経済的には成り立つのか。																																								○				
116	行政任せではなく、地域のモチベーションも必要ではないか。																																									○			
117	原子力の交付金を次世代エネルギーの導入に回してはどうか。																							○																					
118	発送電の分離をやるべきである。											○	○										○			○																			
119	現在、火力発電所がフル稼働しているとのことであるが、CO2などの問題は大丈夫なのか。													○																															
120	光回線がないなど、通信インフラの問題がある。																	○								○																			
121	太陽光発電などの再生可能エネルギーが多く導入されると、結果的に住民の負担が増えてくる。											○	○																																
122	市内には甌島、温泉、イベント等の資源があるが、それらが連携されていないため、交流人口の増加につながらない。																																												
123	色々やりたいが、切口が見えないので、先進地に連れて行って勉強させてほしい。																																												
124	「エネルギーのまち」と言いながら、街灯が多いとか、電気代が安いとか、恩恵がない。																																												
125	電気代が高くなっている中で、エネルギーをいかに発電するかではなく、いかに安く提供するかという視点が欠けると何にもならない。																																												
126	特別高圧線につなぐのは2メガ以上なのか。また、電気主任技師は必要か。																																												
127	大規模太陽光発電の九州電力への接続に関し、市も九州電力に対して積極的に接続を推奨するよう働き掛けてほしい。																																												
128	自然エネルギーの利用は、地球にやさしい面ばかりではない。																																												
129	資料には横文字が多く年配者にはわからないので、注釈があればわかりやすい。																																												
130	今後も可能な限り意見交換会を実施してほしい。																																												
131	色々な実証や設備が設置されているので、機会があることに見学し、それを他の人に情報発信していけばよい。																																												
132	大学や高校で意見交換を実施されたとのことであるが、若い人を引き込んでやることは大事ではないか。																																												
133	次世代エネルギーの取組で、雇用の場の拡大、安定した雇用ができてくれば、地元はもとより、他地域からの入り込みで活性化につながっていくのではないか。																																												
134	次世代エネルギーの取組を進めるにあたり、企業育成や雇用の観点から、地元企業優先を考えてほしい。																																												
135	地域の課題等は、市のアンケート調査の結果のとおりであり、地域で今できることを一つずつでもやっていけば活性化につながっていくのではないか。																																												
136	市が、このような取組を、このような発想で、ここまで考えてやっていることについては評価する。																																												○